

第1063回教育委員会会議録

1 日 時 平成29年7月12日(水) 午後2時00分～午後2時30分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 森近教育長 吉井委員 西野委員 八田委員 南部委員
松田教育振興監 佐々木学校教育幹 淵本企画幹(義務教育)
片柳教育政策課長 清川高校教育課長 東川スポーツ保健課長

4 議 題
なし

5 審議事項

(1) 開会宣告 午後2時00分

(2) 会議録署名人の指名 八田委員 南部委員

(3) 議事要録

教育長 本日の協議報告事項の2については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開といたしたいが御異議ありませんか。

—————当該議案を非公開と決する—————

◎協議・報告事項

(1) 教員採用選考試験の出願状況について

南部委員 表にある第2希望というのは、どういうことを意味しているのか。

学校振興課長 第1希望で不合格としても第2希望で合格する可能性もあり、併願のようなものである。たとえば、小学校で38名が第2希望としてあがっているが、この38名は中学高校の教科を第1希望とし、小学校を第2希望としている。中学高校の教科で不合格になっても、小学校で合格する可能性があるということである。

西野委員 志願者総数が昨年度より64名減ったのはどうしてか。

学校振興課長 民間企業の雇用状況の改善が考えられると思う。減少は本県のみ状況ではなく、近県も同様に志願総数は減っている状況である。

教育長 最近民間企業がよくなって、就職がいいという状況で、教員志望が減っていると思われる。本県は倍率が約4倍あるので、いい方を採用していきたい。

西野委員 各県の倍率はどうなっているか。

学校振興課長 都市部と地方とでは倍率は違う。本県は高い倍率を維持していた。10倍を超える年度もあった。最近では北陸3県とも約4倍という状況である。都市部は本県より低い状況である。

教育長 都市部では働き口がたくさんあり、どうしても教員になりたいという方が少ないと思う。本県の場合には教員になりたいという方が多く、レベルの高い方が受験している。これが教育の高さを維持していると思う。今後、これ以上志願者総数が減ることがないように、都市部からも受験するように工夫していく必要がある。

(2) 文部科学大臣表彰の推薦について

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後2時30分